



しらぎくちゃん
(塩竈市非公式)

西部包括イメージ
キャラクター

月刊

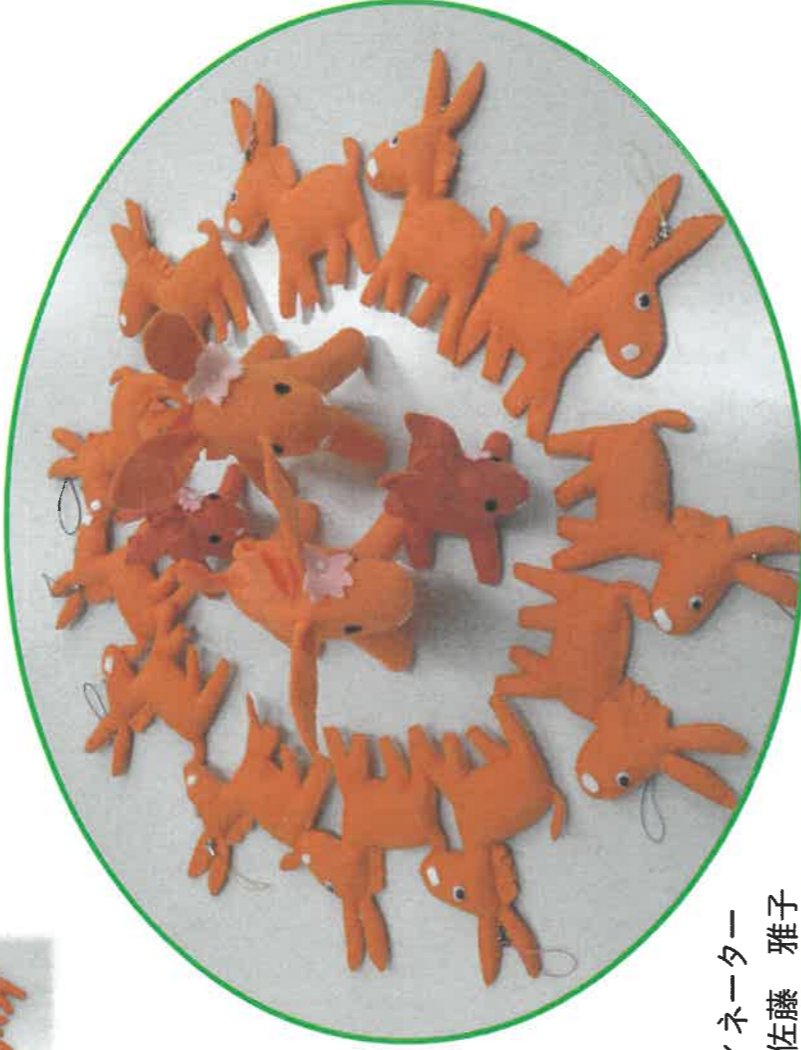
西部包括新聞 8月号

令和3年 8月号 (第14号)
発行：塩竈市西部地域
包括支援センター
塩竈市清水沢1丁目12-2
電話：022 (367) 0414
FAX：022 (349) 9763

まざってみっぺしコーナー



昔語りの会に集まった方々と、そのお仲間です。認知症のマスケット「ロバ隊長」を作ってくださいました。これからも「ロバ隊長」を増やして、「認知症サポーター養成講座」を受講していただいた方にお配りする予定です。



生活支援コーディネーター
佐藤 雅子



一緒に「ロバ隊長」を作って下さる方、大募集中です！



西部地区ケアマネ連絡会

西部地区地域包括支援センター管内にある7カ所の居宅介護支援事業所（ケアマネジャーの事業所）が集まり、地域の情報交換や勉強会を行っています。



住み慣れた地域で自分らしい生活をおくる「地域包括ケアシステム」の実現のために大きな役割を果たすケアマネジャー

7月はリフォーム詐欺にあった事例をとおして「消費者被害」について意見交換を行いました。



8月

9月の予定

《認知症サポーター養成講座》
8月18日（水） 15：00～16：30
9月15日（水） 15：00～16：30

《昔語りをする会》

8月25日（水） 14：00～15：00・15：00～16：00
9月22日（水） 14：00～15：00・15：00～16：00
時間は14：00～、15：00～の二部構成となります

※開催場所はどちらも『西部包括』支援センターです。

イーハートース通信

シリーズ
権利擁護⑧

『日常生活自立支援事業について』

（みやぎ地域福祉サポートセンター まもりーぶ）

「成年後見制度」と「日常生活自立支援事業」この2つの制度はよく似ています。どのような違いがあるのでしょうか……

成年後見制度は、財産管理や身上監護（施設の入退所や生活全般の支援に関する契約等）の法律行為を支援します。

日常生活支援事業（まもりーぶ）は、本人との契約に基づいて、日常生活援助の範囲で支援を行います。

～まもりーぶについて～

どのような方が利用するの？

判断能力が不十分ではあるが、日常生活自立支援事業の利用の意思と契約内容が理解できる人です。

お手伝いできる内容とは？

- ・福祉サービスの利用をお手伝いします（入所契約は除く）
- ・日常的な金銭の出し入れをお手伝いします
- ・家賃や公共料金などの各種支払いを代行します
- ・定期預金や権利書、実印などを失くさないように貸金庫などの安全な場所であずかります

地域包括支援センターは福祉の総合相談窓口です。どんなことも一人で悩まずに、まずはお気軽にご相談ください。

社会福祉士 伊藤 信子



月夜のでんしんばら／宮沢賢治

※「西部包括新聞」のバックナンバーをご希望の方は、ご連絡ください。